2019年度第2回　外部評価委員会審議結果

（研究実施項目：事前評価）５：非常に優れている　４：優れている　３：普通　２：やや劣る　１：劣る

外部評価委員会審議結果　8件中　評価4：4件　評価3：4件

No.	テーマ	研究実施項目名	所属	自己評価者	内部委員会評価	外部委員会評価
1	1A	液状化による沈下・流動の新たな予測手法の開発	動土質研究G	佐々真志	4	4
2	1A	波・流れに対する沿岸地盤構造物の変形・破壊特性評価と補強技術の開発	地盤改良研究G	高橋英紀	3	
3	1C	日本沿岸域を対象とした波浪推算手法の課題整理と高度化	海象情報研究G	田村　仁	3	
4	1C	岸壁の越波・排水を考慮した埠頭の浸水シミュレーション手法の開発	波浪研究G	平山克也	4	4
5	2A	定量的なシミュレーションによる新型コンテナターミナル計画技術の提案	特別研究主幹（新技術研究開発担当）	吉江宗生	3	
6	2A	コンテナターミナルの運用支援技術の提案	特別研究主幹（新技術研究開発担当）	吉江宗生	4	
7	2B	港湾構造物におけるコンクリート工の生産性向上に関する検討	構造研究G	加藤絵万	4	4
8	2C	固化改良体の不良個所が改良地盤全体の強度に及ぼす影響の評価	地盤研究領域	森川嘉之	3	
9	2C	コアレス地盤調査法の開発とデジタル地盤工学の確立に向けた基礎的研究	基礎工研究G	松村　聡	3	3
10	3A	船舶の自動離着岸のための防舷材システムの開発	海洋研究領域	米山治男	3	
11	3A	マシンガイダンス技術を用いた水中施工機械の多機能化に関する研究	ロボティクス研究G	平林丈嗣	4	
12	3A	ICT施工への音響画像システムの適用に関する検討	計測・システム研究G	松本さゆり	3	3
13	3A	波と風の同時作用下における洋上風力発電施設の荷重設定手法に関する研究	海洋利用研究G	加島寛章	3	
14	3A	深海におけるインフラ材料の力学特性と耐久性の評価	構造研究G	川端雄一郎	4	4
15	4A	環境変動に対応する水圏生態系の応答に関する数値的検証	海洋環境情報研究G	井上徹教	3	3
16	4B	航路・泊地埋没の軽減化のための底質移動制御手法の開発	沿岸土砂管理研究G	中村聡志	3	3

（研究実施項目：中間評価【内部】）３：適切　２：修正が必要　１：不適切

（研究実施項目：中間評価【外部】）５：非常に優れている　４：優れている　３：普通　２：やや劣る　１：劣る

外部評価委員会審議結果　1件中　評価3：1件

No.	テーマ	研究実施項目名	所属	自己評価者	内部委員会評価	外部委員会評価
1	1B	複合観測情報に基づく津波予測技術の開発	津波高潮研究G	高川智博	2	3
2	1C	海象観測データの集中処理・解析に基づく海象特性の解明	海象情報研究G	川口浩二	3	
3	2B	暴露試験によるコンクリート、鋼材及び各種材料の長期耐久性の評価	構造研究領域	山路　徹	3	
4	4A	大気・海洋に関する湾口横断観測と解析	海洋環境情報研究G	細川真也	2	

（特定萌芽的研究：事前評価）５：非常に優れている　４：優れている　３：普通　２：やや劣る　１：劣る

外部評価委員会審議結果　1件中　評価3：1件

No.	テーマ	研究実施項目名	所属	自己評価者	内部委員会評価	外部委員会評価
1	―	水中ドローンを活用した海洋構造物の測定に関する検討	構造研究G	野上周嗣	3	
2	―	初期高温履歴を受けたコンクリートへの海水作用による劣化メカニズムの検討	材料研究G	与那嶺一秀	3	3